

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境			0.40					3.0
1 音環境		3.1	0.15	-	-			3.1
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	-	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.4	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.41	-	-			
2 界壁遮音性能	乾式遮音壁TLD52採用	5.0	0.36	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		1.0	0.11	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.11	-	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-			
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.48	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.32	-	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.21	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		3.1	0.25	-	-			3.1
3.1 昼光利用		2.4	0.30	-	-			
1 昼光率		2.0	0.60	-	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-			
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	ブラインドと庇を併用	4.0	1.00	-	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.3	0.25	-	-			3.3
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	ほぼ全面にF を使用	4.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.6	0.30	-	-			
1 換気量	中央管理方式で30m ³ /h人以上の換気量を確保	4.0	0.35	-	-			
2 自然換気性能		3.0	0.31	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.35	-	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.46	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	0.54	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.1
1 機能性		2.9	0.40	-	-			2.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	0.12	-	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.12	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.77	-	-			
1.2 心理性・快適性		2.4	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		1.0	0.40	-	-			
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のスペース及び自販機コーナーを設置	5.0	0.12	-	-			
3 内装計画		3.0	0.49	-	-			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	トイレの内装や外壁は防汚性の高い仕上げ材を採用	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31	-	-			3.4
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-			
1 耐震性	基準法の2.5%増しの耐震性がある。	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋上ダクトにSUS製を採用	4.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4	信頼性		3.0	0.19	-	-	
	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	3.4	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性		3.1	0.29	-	-	3.1
	3.1	空間のゆとり	3.4	0.31	-	-	
		1 階高のゆとり	3.0	0.60	-	-	
		2 空間の形状・自由さ	4.0	0.40	-	-	
		壁長比率0.12					
	3.2	荷重のゆとり	3.0	0.31	-	-	
	3.3	設備の更新性	3.0	0.38	-	-	
		1 空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-	
		2 給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-	
		3 電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
		4 通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
		5 設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	
		6 バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.1
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	市立病院からの視点を考慮し、圧迫感のない景観とした。	4.0	0.40	-	-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.6
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.9
1	建物の熱負荷抑制	PAL値 事務：-22.2% 学校：-17.9% 病院：-7.1%	4.1	0.30	-	-	4.1
2	自然エネルギー利用		3.5	0.20	-	-	3.5
	2.1	自然エネルギーの直接利用	4.0	0.50	-	-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用	3.0	0.50	-	-	
3	設備システムの高効率化	ERR値32.3%	4.8	0.30	-	-	4.8
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	4.8		-	-	
		集合住宅の評価	3.0		-	-	
	4	効率的運用	3.0	0.20	-	-	3.0
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1	水資源保護		3.4	0.15	-	-	3.4
	1.1	節水	4.0	0.40	-	-	
		自動水洗、人感センサー付小便器、節水便器を使用					
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	
		1 雨水利用システム導入の有無	3.0	0.67	-	-	
		2 雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.33	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.4	0.63	-	-	3.4
	2.1	材料使用量の削減	3.0	0.07	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.24	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.05	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	5.0	0.24	-	-	
		再生骨材の路盤利用					
		鉄骨造にLGS下地内装、OA707の採用で再利用可能向上を図る。					
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.22	-	-	3.6
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.32	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避	4.0	0.68	-	-	
		1 消火剤	-	-	-	-	
		2 発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50	-	-	
		発泡剤断熱材の使用なし					
		3 冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2概算値が76%	3.9	0.33	-	-	3.9
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1	大気汚染防止	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3.2	0.25	-	-	
		1 雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
		2 汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
		3 交通負荷抑制	4.0	0.25	-	-	
		4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
		学生の自転車置き場180台確保					
3	周辺環境への配慮		3.4	0.33	-	-	3.4
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-	
		1 騒音	3.0	1.00	-	-	
		2 振動	-	-	-	-	
		3 悪臭	-	-	-	-	
	3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制	3.3	0.40	-	-	
		1 風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
		2 砂塵の抑制	3.0	-	-	-	
		3 日照障害の抑制	4.0	0.30	-	-	
		1ランク上の4時間/2.5時間をクリアしている					
	3.3	光害の抑制	4.4	0.20	-	-	
		1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	
		目的に応じた照明器具等を選定し、時間帯による消灯設定を行う					
		2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	